

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		大河ドラマ館整備運営事業		担当課	渋沢栄一政策推進課	担当係	渋沢栄一政策推進係	管理番号	6204
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり	根拠法令 個別計画等					
	小項目	2	郷土の歴史・文化の継承と活用						
	主要プロジェクト	5	魅力発信！知って見て好きになるふかやプロジェクト						
事業概要		大河ドラマ「青天を衝け」深谷市推進協議会の運営と、大河ドラマ館の設置・運営、NHK関係団体との連絡調整を行う事業。							
目的 ※何のために		大河ドラマの放映に合わせて生誕地である深谷市を広く情報発信するため。							
対象 ※誰・何を対象に		首都圏を中心とした全国から深谷市を訪れるかたを対象とする。							
手段 ※どのように		協議会を運営し、大河ドラマ館を設置・運営する。							
成果 ※何を求めるか		深谷市を訪れる人数を増加させ、まちなかへの回遊を促し、地域の活性化につなげる。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・協議会の設立・運営				・			
		・大河ドラマ館の設置・運営				・			
		・大河ドラマ関係団体との連絡調整				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)	0.00	0.00	0.00	2.80	1.70	0.00
	人件費相当試算※	0	0	0	22,780,800	13,195,256	0
総事業費試算		0	0	0	22,780,800	13,195,256	0

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	協議会全体会議開催回数		目標値	回	0	0	0	4	4	0
			実績値		0	0	0	5	4	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		3ヶ月に1回の開催を目標とする。 / 開催回数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	大河ドラマ館の来場者数		目標値	千人	0	0	0	50	130	0
			実績値		0	0	0	18.22	126.18	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		開館期間中に50万人の来場者を目標とする。 / 年間来場者数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	大河ドラマ館の満足度		目標値	%	0	0	0	80	85	0
			実績値		0	0	0	76.77	89.4	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		当初80%とし、5%の向上を目指す。 / アンケートの割合							
	実績値の算出式									
効率指標 1	来場者1人当たりのコスト		目標値	円	0	0	0	718	719.55	0
			実績値		0	0	0	15788.5	1984.34	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		予算額÷目標来場者数で算出する。 / 決算額÷来館者数							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	概ね予定通りの開催ができたため、Aとする。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	新型コロナウイルス感染症の影響を受け来場者が減少し、目標値を達成できなかった。しかしながら満足度については目標値を上回ったため、Bとする。
			評価者 渋沢栄一政策推進係長 高田 弘徳

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	C	新型コロナウイルス感染症の影響を受け来場者が減少したことを踏まえ、誘客宣伝費の抑制など効率的な事務事業の執行に努めたが、目標値を達成できなかった。
			評価者 渋沢栄一政策推進係長 高田 弘徳

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	大河ドラマの終了後は大河ドラマ館を閉館し施設を現状復旧させるとともに、施設のレガシーについて活用方法などを検討する。また、協議会の解散に向けて適切に対応する。
達成状況及び その効果	施設の現状復旧や協議会の解散については予定通り実施できた。また、施設のセットの一部はレガシーとして保管し、今後適切に活用する。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	大河ドラマ館整備運営事業	担当課	担当係	管理番号	6204
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>夏までの間はコロナ禍の影響により来館者数が伸び悩んだが、秋以降は回復した。また、来館者の満足度については高い水準を保つことができて良かった。本事務事業は目的を達成し終了とするが、施設のレガシーとしての一部セットの活用やプロモーションについては他の事務事業の中で取り組む。</div>			
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	渋沢栄一政策推進課長 塚越 稔		

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	一部保管している施設のセットの活用方法の検討。他の事務事業において引き継ぐ。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	協議会解散後の渋沢栄一翁を活かしたプロモーションの構築。他の事務事業において引き継ぐ。

8. 評価指標グラフ

